

図工科 単元デザインシート

単元名		学年	6 学年
1 2年後のわたし		児童数	17名(特支1名)
		授業者	鈴木 啓太
1 単元の目標			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
<ul style="list-style-type: none"> ・表したいことの様子が分かるように、体の姿勢に合った芯材の形や材料の使い方などを考え、表し方を工夫することができる。 ・自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作ってみたい様子がよく表れるように、必要な材料を選んだり、作り方を工夫したりしながら表すことができる。 ・自作の作品を見せ合い、友達と話し合いながら、表現のよさや面白さを捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の自分について想像することを楽しみ、それを立体に表すことに意欲的に取り組むことができる。 ・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもち、作品作りに取り組むことができる。 	
2 単元における「学習課題」と「期待する子どもの姿」			
【単元の学習課題】 将来の自分を想像し、その内容が分かるように場面を工夫して立体に表そう。			
【期待する子どもの姿】 自分の将来やその様子を想像し、友達と共有することで、将来について興味をもち、具体的な様子を工夫して表現することができる子ども。			
3 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた具体的な子どもの姿と手立て			
主体的な学び	対話的な学び	深い学び	
 <p>見通しをもつ</p> <p>ゴールをイメージしながら解決しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習課題や単位時間の見通しを確認できるようにする。  <p>興味や関心を高める</p> <p>課題解決に向けた自分の思いや願いをもち、進んで解決しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ職業の写真を集めたり、どんな用具をつかっているか調べたりする場を設ける。 ・既習事項や他教科とのつながりを意識し、自由な発想で取り組むことができる環境づくりをする。 	 <p>協働して課題解決する</p> <p>友達と協力して課題の解決につながりそうな情報を探したり、選択・吟味したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形的な視点で対話し、作品に生かすことができるようにする。  <p>互いの考えを比較する</p> <p>他者評価を通じて自分の学びのよさや課題に気付いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と作品について話し合ったり、自分の職業について発表したりする場を設ける。 (相互評価の場の設定) 	 <p>自分の思いや考えと結びつける</p> <p>解決のために既習事項や経験と重ね合わせたり、つないだりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科や総合的な学習の時間等の学びと関連付ける場を設ける。  <p>知識・技能を活用する</p> <p>造形的な見方・考え方を働かせながら、表現の多様性に気付いき、工夫して取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芯材の長所や形、材料の特徴を生かし、抽象的な「イメージ」を具体的な「形」へ変換できるように助言をする。 	